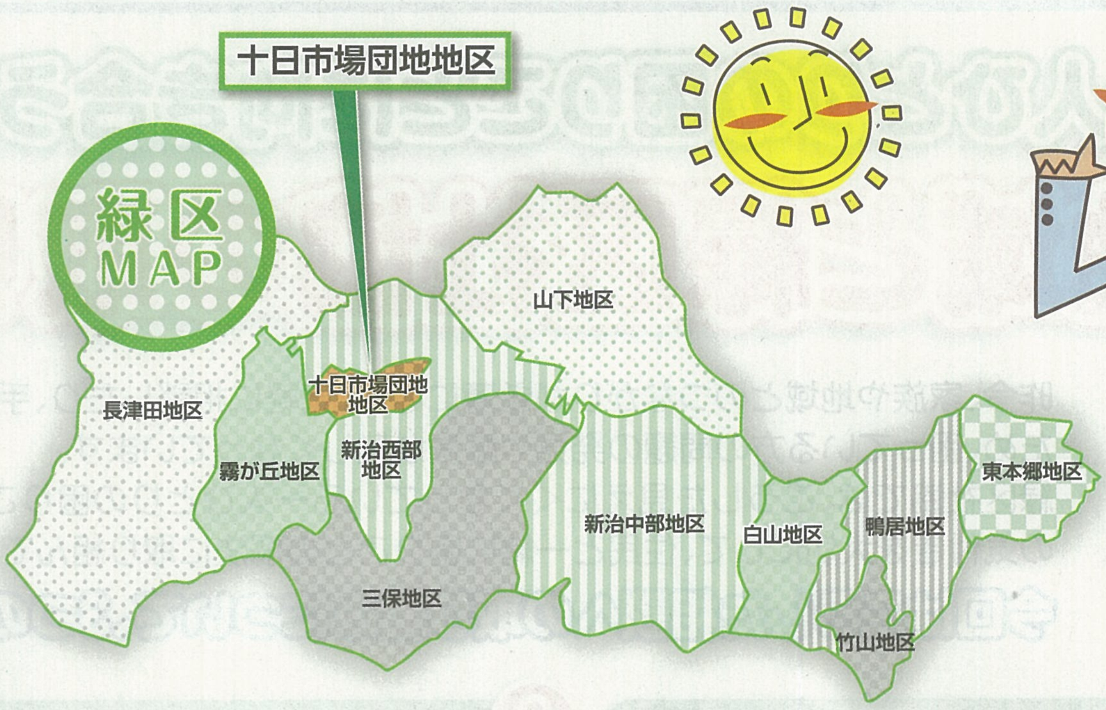
十日市場団地地区 社会福祉協議会

地区社協訪問

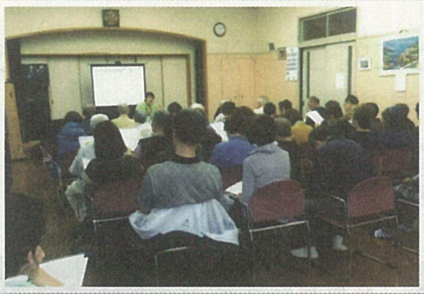
世代問わず地域が団結し、「つながる」「見守る」「交流する」ことで、いつまでもご近所同士が支えあえる十日市場団地を目指しています。

皆さんはじめまして、十日市場団地地区社会福祉協議会会長の白田です。
いつも地区社協の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
十日市場団地地区社協は、連合自治会・民生児童委員等地域の活動者と力を合わせて地域での「つながり」を大事に、よりよい団地づくりが進むような福祉活動をしています。



地域福祉講座

例年秋に開催される地域福祉講座。今年は認知症について学びたいという住民からの声を受け、「認知症サポーター養成講座」を11月18日（水）に開催しました。団地内でも高齢化が進んでいることから関心も高く、48名の参加がありました。
十日市場地域ケアプラザの職員と認知症キャラバンメイト・チーム十日市場の方を招き、認知症に関する講義の後は講師が認知症高齢者に扮した寸劇が行われ、認知症の方の対応について住民と理解を深めました。



配食活動

団地内の高齢者・障がい者を中心に、見守りや安否確認を兼ねて毎月第3木曜日に行っています。最近は利用希望者が少しずつ増えていることもあり、それは嬉しいことではありますが、孤立につながりかねない方が増えることの裏返しでもあります。
毎回季節と栄養バランスを両立した家庭的なメニューを考える楽しさを感じつつ、住民同士の見守り・つながりを作っていくことの重要性を強く感じています。

地区ボランティアセンターの検討

十日市場団地内でのちょっとした困りごとについて「手伝ってほしい」「手伝ってもいいよ」のそれぞれの気持ちをつなぐ仕組みとして、地区ボランティアセンターの開設検討を27年4月より始めています。
先行地区を見学したり、住民向けに12月8日（火）にボランティアについての勉強会を開催したりと、考えることはつきません。身近なご近所同士のたすけあいの実現に向け毎月1回検討会を行っています。

緑区ボランティアセンター

いま求められる「生活支援ボランティア」

地域で暮らす高齢者や障がい者の中には、日常の暮らしの中のちょっとしたことで手助けを必要としている方がいます。例えば、庭の草取りやゴミ出し、掃除、電球やゴムパッキンの交換、買い物への同行など…これらは公的な制度の利用だけではなかなかカバーできません。助けてと言える相手もいなく、そのまま困りごとを解決できずに我慢して生活しているという方もいます。
こうした方を対象に、身近な住民の方々の力を借りて、支え合い、助け合って、困っていることに支援を行うことが、「生活支援」の活動です。
緑区ボランティアセンターでは今後、「生活支援ボランティア」を派遣することで、近隣で支え合うことのできる地域づくりのボランティア育成に力を入れていきます。

障子の張り替え

網戸の張り替え

水廻りのお手入れ

生活支援ボランティア養成講座を開催しました

今回はNPO法人住まいの学習館のスタッフを講師にむかえ、「障子の張り替え」「網戸の張り替え」「水廻りのお手入れ」方法を学びました。
講師スタッフから手順や必要な道具の説明が行われた後に、実習スタートです。作業のポイントポイントで、コツが伝授されていきます。参加者から「なるほど～!」という声がたくさん聞こえてきました。

●皆さんも地域のちょっとした手助け、はじめてみませんか？

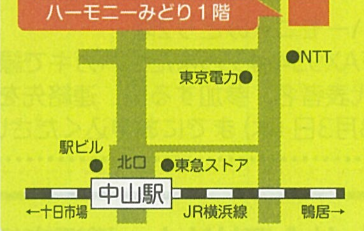
ボランティア活動に興味・関心を持たれた方、ぜひボランティアセンターにご相談ください。

お問合せ・ご登録

緑区ボランティアセンター（緑区社会福祉協議会内）　相談受付：月曜～土曜　9:00～17:00
TEL 935-7807　FAX 934-4355

※ボランティアの依頼・活動にはセンターへの登録が必要となります。登録にあたっては窓口までご来所ください。

緑区社協までの案内図



【最寄り駅】
JR横浜線「中山駅」北口
または
横浜市営地下鉄グリーンライン「中山駅」出入り口①
下車徒歩約7分